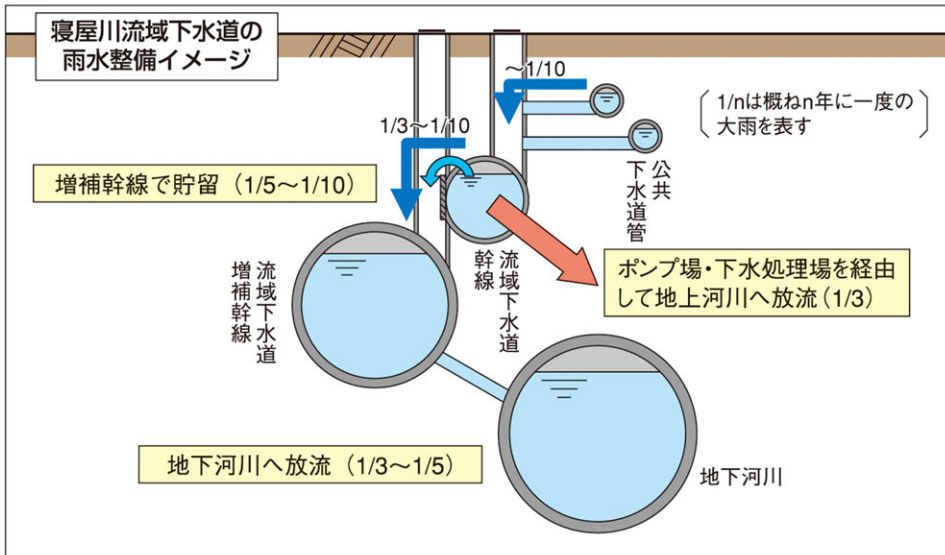
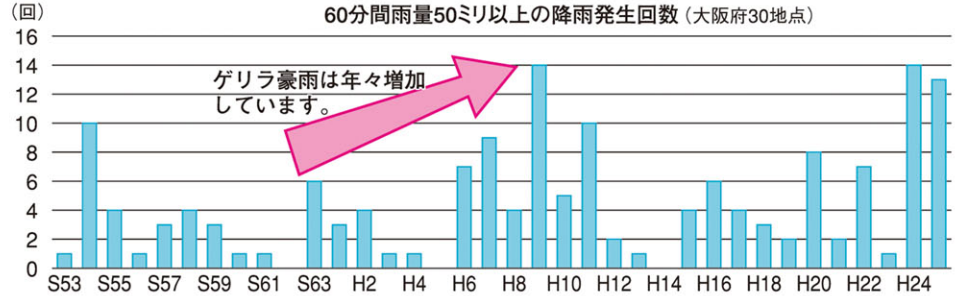
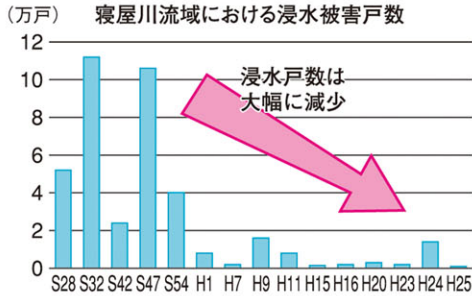


④ 浸水対策事業

概ね10年に一度の確率で発生する大雨に対応した施設を整備し、雨に強いまちづくりを進めています。寝屋川流域は、特定都市河川に指定され、河川と連携した流域水害対策計画を策定し、既存の流域下水道幹線の能力を補うための増補幹線の整備を進めています。



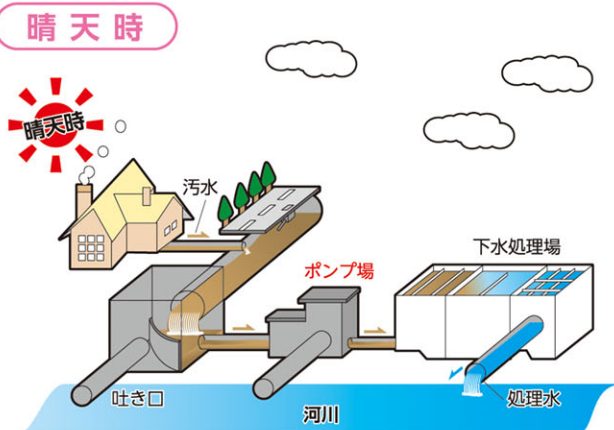
平成24年8月豪雨の状況 (寝屋川市)

増補幹線の貯留状況については、大阪府河川防災情報 (<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>) で確認できます。また、大阪府下水道ポンプ運転情報 (<http://www.osaka-gesui-portal.net/public/internet.html>) により、雨水ポンプの稼働状況も確認できます。

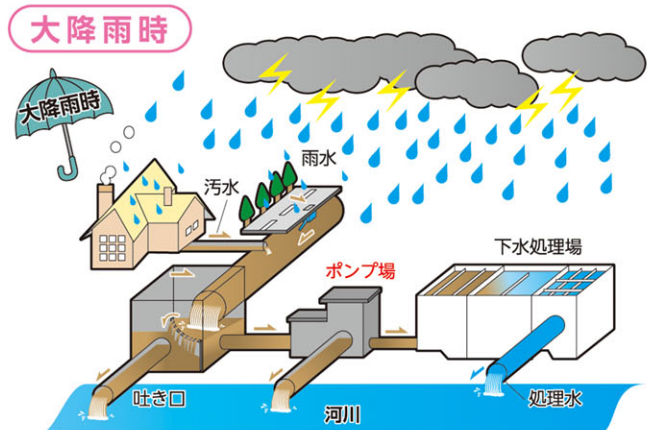
⑤ 合流式下水道の改善

合流式下水道とは、汚水(家庭排水、工場排水、事業所排水など)と雨水を1本の管きょに集めて処理する方式です。晴天時には、全ての下水(汚水)を処理しますが、大雨時には、下水(汚水+雨水)が増えることで、一定量以上の下水(晴天日の3倍以上)が処理できなくなり、河川に未処理のまま放流されます。そこで、貯留施設や簡易処理施設の整備、ポンプ場沈砂池のドライ化等の対策施設の整備により、合流式下水道の改善に取り組んでいます。

ポンプ場(合流式)からの排水の様子



晴天時は、全ての下水(=汚水)を処理しています。



雨が強くなり、下水(=汚水+雨水)が増えると、一定量以上の下水が処理されないまま河川に放流されます。